

# 2011年度試行排出量取引スキーム 目標設定参加者実績等について

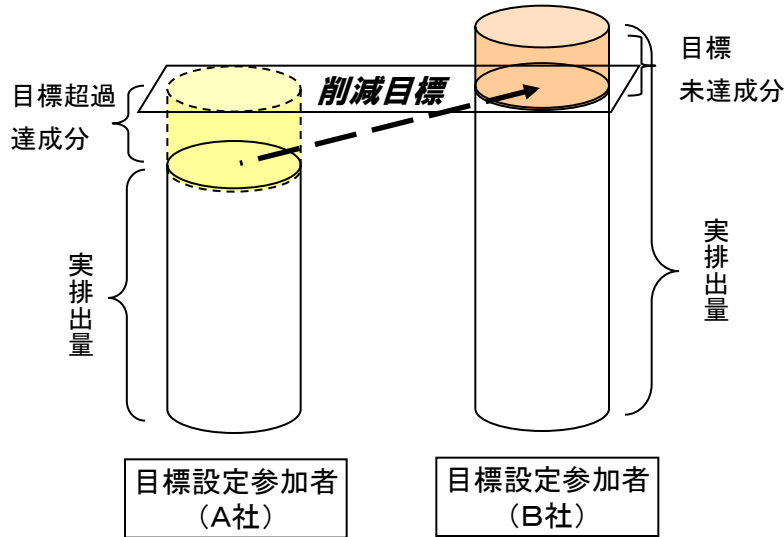
平成25年3月  
経済産業省、環境省

# 試行排出量取引スキームの概要

○企業等が削減目標を設定し、その目標の超過達成分(排出枠)や国内クレジット等の取引を活用しつつ、目標達成を行う仕組み。

- 参加企業等が自主的に目標(総量目標もしくは原単位目標を選択可)を設定。
- 目標達成のために、自らの削減努力に加えて、以下の3つの排出枠・クレジットの活用が可能。

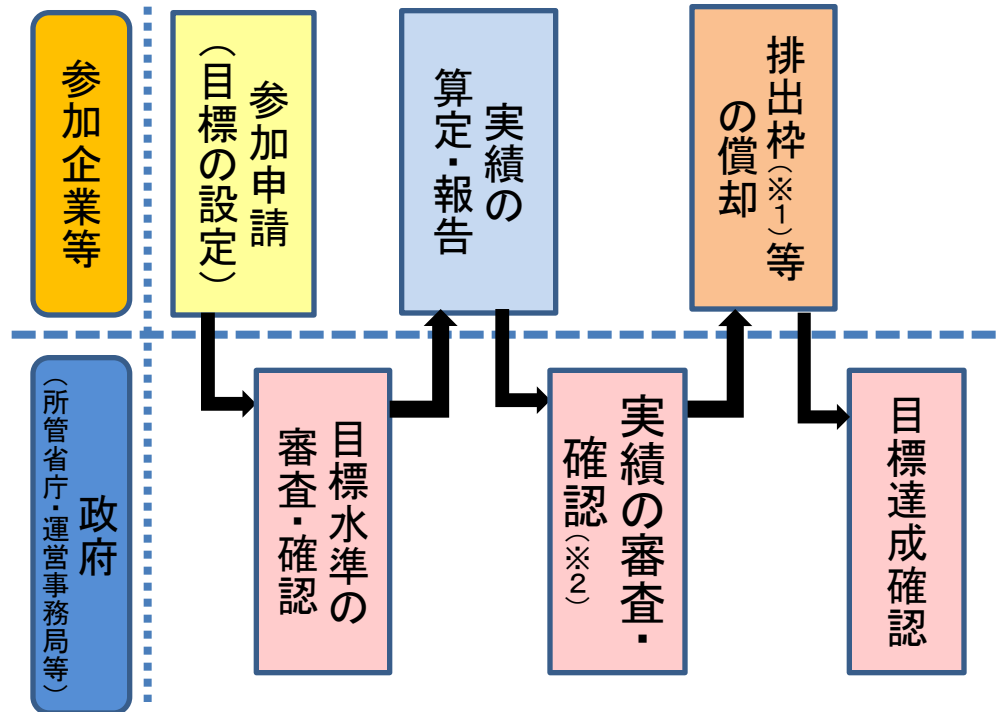
①他の企業の削減目標の超過達成分の排出枠、②国内クレジット、③京都クレジット



目標を達成できなかったB社は、A社の超過達成分を取引によって充当できる。

電力・鉄鋼会社等目標を設定して参加する目標設定参加者だけでなく、商社等専ら排出枠の取引のみを行う取引参加者も存在。

## 【目標達成までの流れ】



- (※1) 排出枠の取得には、事前交付と事後清算がある。
- (※2) 排出枠の売却希望者、検証希望者、自主行動計画非参加企業は第三者検証機関による検証を受検する。

# 試行排出量取引スキーム 2011年度目標設定者の目標達成状況

- 試行排出量取引スキームにおいて2011年度の目標を設定した80者のうち、実排出ベースで、57者が目標を超過達成、23者が削減不足(部門別・業種別の状況は下表の通り)。
- 削減不足者のうち21者については、不足量の借り入れ(ボローイング)、試行排出枠や京都クレジット・国内クレジットの購入・償却を活用した結果、2011年度目標を達成した。
- その他の2者(2011年度が目標設定最終年度)は目標未達成となった。
- 目標指標別では、総量目標設定者57者の内32者(56%)、原単位目標設定者は42者の内25者(60%)が目標を達成した。
- また、第三者検証は80者中25者(うち自主行動計画参加企業21者)が受検した。

部門	業種	全体		目標指標別				目標と実排出量の差分(万t-CO2)		
		超過達成	削減不足	総量		原単位		総量	原単位	
				超過達成	削減不足	超過達成	削減不足			
産業	鉄鋼	1		1				237	237	
	化学等	8	3	5		3	3	102	117	-15
	製紙	6	1	2		4	1	47	2	46
	セメント・板硝子等	8		4		4		103	77	26
	電機電子	4		2		2		8	7	1
	自動車	1		1				84	84	
	その他製造	7	5	4	3	3	2	7	3	4
エネ転	電気事業		9				9	-14,587		-14,587
	石油精製業	6				6		72		72
業務	商社・銀行・流通等	14	3	12	2	2	1	4	4	0
運輸	航空・貨物等	2	2	1	1	1	1	51	0	51
合計		57	23	32	6	25	17	-13,871	530	-14,402

(参考) 自主参加型国内排出量取引制度(JVETS)参加者(全て総量目標)については、2011年度に削減を行った58者中50者が超過削減(73千t-CO2)、8者が削減不足(2千t-CO2)であり、目標と実績の差分の58者合計は71千t-CO2超過削減。2012年11月末までに前年度までのバンキング分等の排出枠の取引を活用(取引件数46件、30千t-CO2)し、58者が目標を達成。

# 試行排出量取引スキーム 2011年度目標設定者の目標達成状況

- 実排出ベースで目標を達成した57者のうち、9者が昨年度までの排出枠BORROWING（借り入れ）分を償却（23万t-CO<sub>2</sub>）、52者は余剰排出枠をBANKING（718万t-CO<sub>2</sub>）。
- また、実排出ベースで削減不足であった23者のうち、3者が昨年度までのBANKING排出枠を活用（0.1万t-CO<sub>2</sub>）、8者が外部クレジットを活用、18者がBORROWINGを活用（1億1,837万t-CO<sub>2</sub>）。
- 削減不足者のうち上記に該当しない2者（2011年度が目標設定最終年度）は目標未達成となった。

## 達成（実排出ベース） 57者（741万t-CO<sub>2</sub>）

余剰排出枠の活用	者	活用量 (万t-CO <sub>2</sub> )
他者に売却	0	0
昨年度BORROWING分償却※1	9	23
BANKING	52	718
今年度超過達成分を 全量BANKING	48	715
昨年度までのBORROWING分償 却後の余剰分をBANKING	4	3

※1: 5者はなお残る昨年度までのBORROWING分を今年度も引き続きBORROWING（43万t-CO<sub>2</sub>）。

## 削減不足 23者（14,612万t-CO<sub>2</sub>）

不足分の埋め合わせに活用した 排出枠・クレジット	者	活用量 (万t-CO <sub>2</sub> )
昨年度までのBANKING排出枠※2	3	0.1
他者排出枠	0	0
外部クレジット	8	2,776
BORROWING※3	18	11,837
今年度削減不足分を 全量BORROWING	10	222
外部クレジット、昨年度排出枠償 却後不足分をBORROWING	8	11,615

※2: 3者はなお余剰する昨年度までのBANKING分を今年度も引き続きBANKING（7万t-CO<sub>2</sub>）。

※3: 17者は昨年度までのBORROWING分を今年度も引き続きBORROWING（5,050万t-CO<sub>2</sub>）。

2008年度から  
2011年度までの  
累積

バンキング（累積）	116者	3,985万t-CO <sub>2</sub>
BORROWING（累積）	24者	1億6,938万t-CO <sub>2</sub>
目標未達成（累積）	15者	3万t-CO <sub>2</sub>

（参考）JVETSでは実排出ベースの目標達成者50者の余剰排出枠の内、売却（2者、0.4千t-CO<sub>2</sub>）、バンキング（15者、38千t-CO<sub>2</sub>）、取消等（34者、34千t-CO<sub>2</sub>）。実排出ベースの削減不足者8者は他者排出枠の取引（2千t-CO<sub>2</sub>）を活用。